

平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 : 川 崎 汽 船 株 式 会 社
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 村 上 英 三
(コード番号 9 1 0 7 東 証 ・ 名 証 第 一 部 、 福 証)
問 合 せ 先 : 経 営 企 画 グ ル ー プ 長 室 崎 正 浩
(Tel 0 3 - 3 5 9 5 - 5 5 9 4)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 10 月 30 日に公表した平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	通期				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平 成 2 7 年 1 0 月 3 0 日 公 表)	百万円 1,300,000	百万円 24,000	百万円 20,000	百万円 12,000	円 銭 12.80
今 回 修 正 予 想 (B)	1,275,000	11,000	7,000	5,000	5.33
増 減 額 (B-A)	△ 25,000	△ 13,000	△ 13,000	△ 7,000	△ 7.47
増 減 率 (%)	△ 1.9%	△ 54.2%	△ 65.0%	△ 58.3%	△ 58.4%
(ご 参 考) 前 期 連 結 実 績 (平 成 2 7 年 3 月 期)	1,352,421	47,988	48,980	26,818	28.60

2. 修正の理由

コンテナ船事業では荷動きが低成長に留まる一方で、新造大型船の就航が相次いだため船腹需給のギャップが広がり、またドライバルク事業においても、中国の景気減速などを背景とする需要の減退が重なり、市況が低迷しました。配船効率化などの収益改善策への取り組み、運航コストの削減に努めておりますが、コンテナ船事業及びドライバルク事業を中心とした市況低迷の継続が予想されるため、通期の業績予想につき上記のとおり修正しております。

以上

注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。